

頭や首のケガ（頭頸部外傷）に対する救急対応

● 頭頸部外傷とは

頭頸部外傷とは、頭や頸部に何らかの外力が加わることによる頭部・頸部のケガの総称です。頭部であれば頭皮・頭蓋骨・脳に、頸部であれば頸椎や頸髄に損傷があることを指します。

脳振盪は、頻度の高い頭頸部外傷の一つであり、頭部に明らかな損傷はないものの「医学的には脳に一時的な機能障害が起こった状態」で吐き気・頭痛・意識消失などの症状が発生した状態です。

● 頭頸部外傷が起こりやすいシチュエーション

人と接触



(例：サッカーでの衝突)

床と接触



(例：転倒時の頭部打撲)

物と接触



(例：ボールや道具の直撃)

● 頭頸部外傷が発生した場合の注意事項

 頭部を強く打って倒れた場合は「頭頸部外傷の症状を確認するまで動かさない」ことが原則です。症状を確認して動かしても問題がないことを評価してから安全な場所へ移動しましょう。そして、症状がある場合は、頭部を固定したまま 119 番通報をして救急隊の指示を仰ぎましょう

 頭頸部外傷によって生じる意識障害は受傷から24時間以内に症状が発生・悪化する可能性があります。「必ず1人きりにせずに経過観察」し、症状の悪化がみられたら速やかに医療機関を受診するようにしましょう

 頭を打ったら「脳振盪の10の徴候」をチェックしましょう

- 1. 意識消失（一瞬でも） 2. 倒れて動かない 3. 受け答えが適切でない
- 4. フラフラしている 5. 動きが遅い 6. 周囲や場所がわからない
- 7. 頭痛・めまい・吐き気 8. 混乱している 9. うつろな表情
- 10. 衝撃を受けた前後のこと思い出せない

 受傷したら必ず「保護者の連絡と専門医療機関（脳神経外科）の受診」

頭や首のケガ（頭頸部外傷）発生時のフローチャート

頭頸部外傷発生

対応

判断



(仰向け時の固定)



(うつ伏せ時の固定)

頭部を固定する

協力者の要請

開眼して	
○ : いる	× : いない
○ : 話すことが	
○ : できる × : できない	
発作やけいれん	
○ : なし	× : あり
嘔吐	
○ : なし	× : あり

力が	
○ : 入る	× : 入らない
触られた感覚が	
○ : ある	× : ない
手足のしびれが	
○ : ない	× : あり

意識消失	
○ : なし	× : あり
ふらつき・異常行動	
○ : なし	× : あり
頭痛・めまい・吐き気	
○ : なし	× : あり
混乱興奮状態	
○ : なし	× : あり
質問に回答が	
○ : できる	× : できない

頭部を固定して 反応・意識の確認

頭部を固定したまま
119番通報
AED手配

×がある場合

頸部のチェック (神経・運動機能の確認)

○の場合

補助しながら 安全な場所へ移動

○の場合

脳振盪チェック (症状の確認)

×がある場合

すみやかに
脳神経外科へ

症状悪化

異常あり

保護者に連絡して 24時間は経過観察